



かわまち交流館前で行われたテープカット

五ヶ瀬川水系

きょう、あゆやな漁解禁

延岡水郷やな食事棟前でテープカット

五ヶ瀬川水系のあゆやな漁がきょう、解禁された。相次ぐ台風の影響でやなはまだ架けられていないが、延岡観光協会（谷平興二代表理事）はきょう、延岡市大貫町の「延岡水郷（あゆ）やな食事棟（かわまち交流館）前でオープン式を行い、延岡のあゆシーズンの到来をアピールした。

産卵のため秋に下つてくるアユを落し簀（す）に誘い込むあゆやな漁は、同水系では300年以上の歴史があり、市内では、やな漁の期間に合わせて、川沿いに複数のあゆ料理食事棟が立つ。延岡の秋の観光の呼び物となっている。

オープン式には観光、市政、経済関係者約100人が出席した。谷平代表理事は今年、市内のあゆ食事棟の代表とも言える同交流館が完成したこ

「川水流帖やな」はやなの架設形態を検討中。食事棟は「川水流」が既に営業中。「水郷」はきょう夕方から、三須町の「華月柳（はなやぎ）」が5日から営業する。北方町角田の「矢野あゆ場」は未定。

普通期は「平年並み」

本年産の県内稲作作柄概況
九州農政局は9月28日、本年産普通期水稲の県内作柄概況（9月15日現在）について、平年を100とした作況指数は

101で「平年並み」との見通しを発表した。1穂当たりのもみ数は「やや多い」となったものの、9月上旬以降の日照時間が平年を下回って推移し、登熟（実入り）の「やや不良」が見込まれ、10ヶ当たりの予想収量は平年並みの511キロとした。

地域別の作況指数は西

海（延岡、日向、宮崎、門川など14市町）が100。